

時間学国際セミナー

【 時間学の学際的研究課題 — 海外における時間研究の現在 】

時間の理論のあり方と日本思想史について言及したうえで時間の学際的な研究の課題と国際時間学会についてご講演いただきます。*日本語にて講演

日時：平成27年8月10日（月）14:00～17:00

場所：山口大学吉田キャンパス

総合研究棟3Fフォーラムスペース

（山口市吉田1677-1）

講師 シュタイネック・ラジ 先生

チューリッヒ大学文学部日本学 教授

国際時間学会（ISST）会長



略歴

ドイツ・ボン大学、フランクフルト大学を経て、現在スイス・チューリッヒ大学教授（文学博士）。東京大学、同志社大学で客員教授を歴任。東京大学や立命館大学生存学研究センターなどでも講演を行っている。

研究分野および主な研究テーマ

日本思想史・日本哲学、とりわけ禅思想

「日本のシンボル形式」「シンボル形式からみた日本神話」「古代・中世の時間の思想」「道元及び禅の思想的研究や修辞学的分析」「近・現代日本における哲学の概念とイメージ」「現代日本における倫理学の動向（生命倫理、技術倫理等）」「自然の概念と物象化の理論」「時間の理論」等。

主な著作

- ・ 神秘主義思想の基本構造（2000年）
- ・ 道元に於ける心身問題（2003年）
- ・ 日本生命倫理学に於ける身体思想（2007年）
- ・ 近・現代における日本の哲学の概念とイメージ（共編・2014年）
- ・ シンボル形式の批判第一巻：シンボル形式とシンボリック機能（2014年）

主催：山口大学時間学研究所 共催：日本時間学会

問合せ先：山口大学時間学研究所

TEL：083-933-5848 e-mail：jikann@yamaguchi-u.ac.jp